

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成27年度～平成31年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	湖北森林計画区 （滋賀県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 滋賀森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、滋賀県と福井、岐阜県境の脊梁部を主体に所在する国有林野10,239ha内で実施する。</p> <p>当該国有林野は、79%が水源かん養保安林に設定されており、水資源の確保に重要な役割を担っている。また、北部の国有林野は、越美山地縁の回廊に設定され、種の保存、遺伝資源の保全管理を図っている。</p> <p>本事業は、当該国有林野の20%を占める人工林について、地球温暖化防止をはじめ、公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施する。</p> <p>また、効率的な森林整備を推進するとともに、路網を整備し、間伐材等の利用を推進する。</p> <p>さらに、これらの事業や、木質バイオマスを含めた木材利用の推進により山村を振興し、環境負担の少ない新しいまちづくりを推進する。</p> <table border="0"> <tr> <td>・主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>16 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>579 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>1.5 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.4 (km)</td> </tr> <tr> <td>・総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>304,627 (千円)</td> </tr> </table>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	16 (ha)			保育面積	579 (ha)		路網整備	開設延長	1.5 (km)			改良延長	0.4 (km)	・総事業費			304,627 (千円)
・主な事業内容	森林整備	更新面積	16 (ha)																				
		保育面積	579 (ha)																				
	路網整備	開設延長	1.5 (km)																				
		改良延長	0.4 (km)																				
・総事業費			304,627 (千円)																				
費用対効果分析	総 便 益 (B)	2,452,335 (千円)																					
	総 費 用 (C)	331,456 (千円)																					
	分析結果 (B/C)	7.40																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

整理番号 2

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 事業実施地区名：湖北森林計画区
 （都道府県名：滋賀県）

事業実施主体：近畿中国森林管理局
 滋賀森林管理署

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	367,506	
	流域貯水便益	138,990	
	水質浄化便益	350,768	
山地保全便益	土砂流出防止便益	555,168	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	164,428	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	18,688	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	567,957	
	木材利用増進便益	649	
	木材生産確保・増進便益	248,718	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(205,684)	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	(43,034)	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	106	
	森林管理等経費縮減便益	2,854	
	森林整備促進便益	27,016	
災害等軽減便益	維持管理費縮減便益	9,487	
総便益 (B)		2,452,335	
総費用 (C)		331,456	
費用便益比 (B/C)		7.40	

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成27年度～平成31年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	大阪森林計画区 （大阪府）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 京都大阪森林管理事務所												
事業の概要・目的	<p>本事業は、大阪府北部の箕面市と高槻市、和歌山県境の阪南市、岬町に所在する国有林野1,036ha内で実施する。</p> <p>当該国有林野は、計画区内森林全体の2%であるが、その多くが都市近郊に所在しており、森林を利用した保健休養等の場として多くの市民に利用されている。</p> <p>本事業は、当該国有林野の63%を占める人工林について、地球温暖化防止をはじめ、公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施する。</p> <p>また、これらの事業や、木質バイオマスを含めた木材利用の推進により山村を振興し、環境負担の少ない新しいまちづくりを推進する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>20 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>221 (ha)</td> </tr> <tr> <td>・総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>51,972 (千円)</td> </tr> </table>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	20 (ha)			保育面積	221 (ha)	・総事業費			51,972 (千円)
・主な事業内容	森林整備	更新面積	20 (ha)												
		保育面積	221 (ha)												
・総事業費			51,972 (千円)												
費用対効果分析	総便益 (B)	924,331 (千円)													
	総費用 (C)	57,879 (千円)													
	分析結果 (B/C)	15.97													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>														

整理番号 3

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
事業実施地区名：大阪森林計画区
(都道府県名：大阪府)

事業実施主体：近畿中国森林管理局
京都大阪森林管理事務所

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	135,682	
	流域貯水便益	72,064	
	水質浄化便益	236,261	
山地保全便益	土砂流出防止便益	357,381	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	66,228	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	12,034	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	44,681	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(44,681)	
総便益(B)		924,331	
総費用(C)		57,879	
費用便益比(B/C)		15.97	

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成27年度～平成31年度				
事業実施地区名 （都道府県名）	円山川森林計画区 （兵庫県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 兵庫森林管理署				
事業の概要・目的	<p>本事業は、兵庫県北部の鳥取県境沿いの脊梁付近と、県東部の京都府との県境付近に所在する国有林野4, 296ha内で実施する。</p> <p>当該国有林野は、93%が水源かん養保安林に設定されており、下流域への水源として重要な役割を担っている。</p> <p>本事業は、当該国有林野の39%を占める人工林について、地球温暖化防止をはじめ、公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施する。</p> <p>また、木質バイオマスを含めた木材利用の推進により山村を振興し、環境負担の少ない新しいまちづくりを推進する。</p>						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 	森林整備 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>更新面積</td> <td>17 (ha)</td> </tr> <tr> <td>保育面積</td> <td>575 (ha)</td> </tr> </table>	更新面積	17 (ha)	保育面積	575 (ha)	
更新面積	17 (ha)						
保育面積	575 (ha)						
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総事業費 		116,403 (千円)				
費用対効果分析	総 便 益 (B)	1,916,503 (千円)					
	総 費 用 (C)	142,158 (千円)					
	分析結果 (B/C)	13.48					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備が効率的に計画されていると認められる。</p>						

整理番号 4

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：近畿中国森林管理局

事業実施地区名：円山川森林計画区

兵庫森林管理署

(都道府県名：兵庫県)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	385,429	
	流域貯水便益	150,369	
	水質浄化便益	412,936	
山地保全便益	土砂流出防止便益	549,887	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	146,685	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	18,512	
	木材生産確保・増進便益	252,685	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(252,685)	
総便益 (B)		1,916,503	
総費用 (C)		142,158	
費用便益比 (B/C)		13.48	

整理番号 5

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：近畿中国森林管理局

事業実施地区名：日野川森林計画区

鳥取森林管理署

(都道府県名：鳥取県)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	201,606	
	流域貯水便益	110,159	
	水質浄化便益	245,112	
山地保全便益	土砂流出防止便益	398,264	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	102,039	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	13,405	
	木材生産確保・増進便益	108,040	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(108,040)	
総便益 (B)		1,178,625	
総費用 (C)		79,905	
費用便益比 (B/C)		14.75	

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成27年度～平成31年度
事業実施地区名 （都道府県名）	江の川下流森林計画区 （島根県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 島根森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、島根県中部を流れる江の川流域を主体に所在する国有林野10,415ha内で実施する。</p> <p>当該国有林野は、90%が水源かん養保安林に指定されており、日本海へ流れ込む江の川の水源として重要な役割を担っている。</p> <p>本事業は、当該国有林野の68%を占める人工林について、地球温暖化防止をはじめ、公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施する。</p> <p>また、効率的な森林整備を推進するとともに、路網を整備し、間伐材等の利用を推進する。</p> <p>さらに、これらの事業や、木質バイオマスを含めた木材利用の推進により山村を振興し、環境負担の少ない新しいまちづくりを推進する。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <li style="margin-left: 20px;">森林整備 <li style="margin-left: 20px;">更新面積 214 (ha) <li style="margin-left: 20px;">保育面積 2,937 (ha) <li style="margin-left: 20px;">路網整備 <li style="margin-left: 20px;">開設延長 1.3 (km) <li style="margin-left: 20px;">改良延長 0.1 (km) ・ 総事業費 634,604 (千円) 		
費用対効果分析	総 便 益 (B)	10,266,613 (千円)	
	総 費 用 (C)	796,904 (千円)	
	分析結果 (B/C)	12.88	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>		

整理番号 6

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：近畿中国森林管理局

事業実施地区名：江の川下流森林計画区

島根森林管理署

(都道府県名：島根県)

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,585,210	
	流域貯水便益	811,230	
	水質浄化便益	1,797,694	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,713,934	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	942,455	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	91,355	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	107,523	
	木材利用増進便益	2,536	
	木材生産確保・増進便益	2,053,865	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(1,948,357)	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	(105,508)	
森林整備経費縮減	造林作業経費縮減便益	140	
	森林管理等経費縮減便益	2,230	
	森林整備促進便益	156,776	
災害等軽減便益	維持管理費縮減便益	1,665	
総便益 (B)		10,266,613	
総費用 (C)		796,904	
費用便益比 (B/C)		12.88	

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成27年度～平成31年度																
事業実施地区名 （都道府県名）	山口森林計画区 （山口県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 山口森林管理事務所																
事業の概要・目的	<p>本事業は、山口県中部に所在する国有林野4,107ha内で実施する。当該国有林野は、95%が水源かん養保安林に指定されており、水源涵養機能の発揮が期待されている。</p> <p>本事業は、当該国有林野の77%を占める人工林について、地球温暖化防止をはじめ、公益的機能の維持増進を図るため、間伐等の保育作業を実施する。また、効率的な森林整備を推進するとともに、路網を整備し、間伐材等の利用を推進する。</p> <p>さらに、これらの事業や、木質バイオマスを含めた木材利用の推進により山村を振興し、環境負担の少ない新しいまちづくりを推進する。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>・主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>138 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>1545 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>3.8 (km)</td> </tr> <tr> <td>・総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>539,019 (千円)</td> </tr> </table>			・主な事業内容	森林整備	更新面積	138 (ha)			保育面積	1545 (ha)		路網整備	開設延長	3.8 (km)	・総事業費			539,019 (千円)
・主な事業内容	森林整備	更新面積	138 (ha)																
		保育面積	1545 (ha)																
	路網整備	開設延長	3.8 (km)																
・総事業費			539,019 (千円)																
費用対効果分析	総 便 益 (B)	5,865,960 (千円)																	
	総 費 用 (C)	627,927 (千円)																	
	分析結果 (B/C)	9.34																	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮等が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源涵養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																		

整理番号 7

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 事業実施地区名：山口森林計画区
 （都道府県名：山口県）

事業実施主体：近畿中国森林管理局
 山口森林管理事務所

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	1,277,212	
	流域貯水便益	413,695	
	水質浄化便益	1,075,233	
山地保全便益	土砂流出防止便益	1,395,720	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	454,988	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	46,984	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	19,463	
	木材利用増進便益	2,180	
	木材生産確保・増進便益	1,005,421	
	木材生産確保・増進便益(森林整備分)	(962,284)	
	木材生産確保・増進便益(路網整備分)	(43,137)	
森林整備経費縮減	造林作業経費縮減便益	1,328	
	森林管理等経費縮減便益	1,921	
	森林整備促進便益	171,815	
総便益 (B)		5,865,960	
総費用 (C)		627,927	
費用便益比 (B/C)		9.34	